

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県麻生警察署協議会
日 時	令和5年11月2日(木) 午後3時から午後4時40分までの間
場 所	神奈川県麻生警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会長 赤本昌応 副会長 中島健児 中山嘉春 門間亜砂子 青戸慶太 江刺家伸洋 濱泉 計7人</p> <p>2 警察署側 署長 玉置敏也 副署長 加藤則夫 警務課長 菅原彰 会計課長 臼井敬子 地域課長 諏訪智 刑事課長 村上美生 警備課長 斎藤貴広 交通課長 渡邊潤 計8人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>前回諮問「地域住民が望む交番の在り方について」</p> <p>1 答申</p> <p>(1) 常に交番に人がいて欲しい人、パトロールで姿を見せて欲しい人と意見が割れるが、どちらかに重点を置いて活動した方が良いのではないか。</p> <p>(2) 交番に人がいない時でも訪問者に対応するため、本署やバックヤードからもテレビカメラを通じて対応できないか。</p> <p>(3) 交番勤務員に求めることは『市民に近い存在になってもらう』こと。声掛け、挨拶など積極的にしてもらいたい。拾得物を届けた時に事務的で対応が悪いと感じることがあるので、接客を学んでもらいたい。</p> <p>2 措置結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交番勤務員は勤務計画に基づき勤務しており、通報事案の対応についても計画との両立を図る。 ・ 遺失拾得物の取扱い、地理案内などについて対応するため、県下全交番に「交番相談員」が配置され、当署においても交番事情に配慮した配置を実施した。 ・ 勤務員が不在の際は、交番内に内線電話と案内板を設置している。テレビカメラについては、現在導入は図られていないが、今後も地域住民のニーズに応えられる交番の在り方を検討する。 ・ 当署においては、交番勤務員が市民に近い存在であるため署長から「適正な職務執行や親切丁寧な仕事で麻生署を応援してくれる人を作ろう」と訓示教養を行い、実践中である。 ・ 交番勤務員の約半数が若手警察職員であり、今後も若手の育成を継続し安全安心につなげる。 ・ 交番勤務員が「市民に近い存在」となるための施策として、喫煙所に隣接した新百合ヶ丘駅前交番においては、喫煙している者への声掛けを活性化し、交番及びその周辺の美化活動に積極的に取り組んでいる。誰もが立ち寄りやすい交番の実現に一定の成果を見出し始めたところなので、今後も継続する。 <p style="text-align: center;">諮問</p> <p>警察に求める不法滞在外国人対策について</p> <p style="text-align: center;">答申</p> <p>1 外国人を雇う際のパスポートや在留カードの確認を徹底するよう周</p>

知してはどうか。

2 不法滞在外国人を雇う業種は限られていると思うので、警察による継続した身分確認を行う。

3 気軽に警察に相談ができるように、110番通報ではなく、目安箱やメールの窓口を設置してはどうか。

業務説明

前四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進結果及び今四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について説明を行った。